

平成 年 月 日

那覇市議会議員
安慶田 光 男 様

首里自治会長連絡協議会
会長 比 嘉 朝 文

NPO 法人首里まちづくり研究会
理事長 石 崎 雅 彦



現首里支所庁舎移転後の用地所管について（陳情）

1. 陳情の趣旨

平成 19 年 2 月那覇市議会定例会において、首里支所庁舎の移転、建替えについて（陳情第 71 号）、久場川市営住宅建替え地域への移転、建替えが採択議決されました。

ついでには、地番首里当蔵町 2 丁目 10 番の現首里支所庁舎移転後の当該用地については、那覇市民はもとより広く公益に資するよう今後とも公有地としての維持管理とすることを陳情します。尚、移転後の土地利用については、ポケットパーク等を整備し、広く公益に資することを陳情します。

2. 陳情の理由

首里城と密接に関連する歴史的街区や道筋、城内からの雄大な眺望、首里八景として詠まれた名勝の地、これらを取り巻く豊かな歴史的環境について計画的に保全や復元、整備を進める事が極めて重要であることを理念とする昭和 59 年沖縄県策定の「首里杜構想」に於いて、「首里歴史的風土保全地区」に位置づけられた本地区は、現在、歴史と文化の薫るまちづくりを進め、観光・商業が共存しあう環境づくりや、首里らしい歴史的な面影のある道路及び沿道建物により、親密感と統一感をもたせる景観形成を図るため、平成 14 年那覇市は、都市景観形成地域に指定し、建物等の整備が進められている。それに並行して首里城下のメインストリート龍潭通りの電線地中化と拡幅及び舗装などの景観整備が進められている。

首里城公園外では安国寺、蓮小堀、伊江殿内庭園は首里城と密接に関連する。これらの歴史資源は世界遺産に匹敵する沖縄の貴重な歴史資産であり、首里杜構想の実現化推進に向けては欠かせない資源である。当該用地はその蓮小堀の一部に辺り、将来的な蓮小堀の復元に向けての対策は不可欠である。

更に、同構想では首里城と密接な関係を持つ地区については、集約的な歴史的、文化的なまちづくりを推進することが位置づけられている。

ついでには、那覇市及び沖縄観光に大きく寄与する那覇市の三大祭り「琉球王朝祭り首里」の進行運営に資すること及び地域住民やモノレール利用者等の快適で安全な観光利用等のまちづくり推進に資することも検討の余地がある。